

商標登録をきっかけにふるさと納税返礼品に採用

会社概要

つるや菓子舗（下伊那郡阿南町）

従業員5名以下

大正8年に創立して以来、代々南信州で和菓子の製造販売業を営んでおります。当店一押しの商品は、沖縄産黒糖を使用した皮と北海道十勝地方の小豆を使用した「つるやまんじゅう」で、県外からも足を運んで来られるお客様もいらっしゃいます。

きっかけ

南信州の名物「五平餅」を菓子にアレンジした「御幣パイ」を創作して販売を開始したころ、外出先の某地域で「御幣」の文字が目に入り、当店の「御幣パイ」は商標的に大丈夫か心配になり、町の商工会に相談しました。商工会から知財総合支援窓口を紹介していただき、リスクの度合いと商品名の保護について支援をお願いしました。



つるや菓子舗のツイッターより

支援内容・ポイント

窓口担当者から商標制度の特徴と J-PlatPat による商標検索方法を教えていただき、同じ商標であっても指定商品が異なればリスクがないことを知りました。

そして、「御幣パイ」を安心して使用して当店の看板商品の一つとすべく、出願書類の作成の支援をいただき、商標出願しました。さらに、早期の商標登録を図るために、早期審査の申請方法を教授いただき、商標の使用証明の書面を作成して申請しました。

また、町のふるさと納税返礼品に指定していただくよう、商工会に働きかけをしました。

成果

早期審査の申請をしたおかげで比較的早期に登録査定を受け、商標登録（第6178918号）することが出来ました。また、SNSを活用して商品のPRを行い、加えて、町のふるさと納税返礼品に指定していただくことになり、売り上げが徐々に伸びています。

南信州は道路交通網の整備が不十分なため、住民や旅行者数が年々減少していますが、より多くの方に当店の菓子を味わっていただき、笑顔を増やしていきたいです。



阿南町のふるさと納税返礼品パンフレットより